

2021
秀作

第19回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

信長の資金調達と現代の日本経済

岐阜県・岐阜県立岐阜高等学校 2年 松尾 蒼太

コロナ終息後、日本の経済を立て直すために必要となるのは「部分的な規制緩和」と、「交通改革」そしてそれらによる密な関係だと考える。

私が今住んでいる「岐阜」という地名は、織田信長によって命名されたと言われている。そのため、昔から私は信長の生きていた戦国時代、安土桃山時代に興味を持っていた。楽市楽座、この言葉は教科書に載っているため、ほとんどの人が知っているだろう。信長が行った経済政策として有名である。戦国時代は数々の戦争が起きた時代で、武器や兵士の調達に多額の費用が必要であった。そんな時代にたくさんの武器や兵を所持し、天下統一事業を進めた信長の経済政策から、現代に生かせることがあるのではないか。

まず、敵と戦うために必要な武器の金額について考えたいと思う。一般的な一兵卒の場合、戦に刀、槍、弓矢、具足、馬などを用いる。私が見つけた記述によると、現在の価値で刀、槍、弓矢が数万円ずつ、弓を射る弓懸が1万円するようだ。そして具足が約30万円、馬が約20万円であり、一式でおおよそ60万～70万円もする。1,000人の軍勢を連れて行くとすると7億円ほど必要になる。そして時代が進んでいき、鉄砲も所持するようになると、鉄砲が1挺約50万～60万円するため、1人当たり全部で130万円ほどかかる。また、戦に必要なのはそれだけではない。兵糧や鉄砲の玉などの備蓄におおよそ1億円かかるようだ¹⁾。

このように、戦国時代は金がモノを言う経済戦争の時代だったと言える。この途方もない大金を捻出した信長の政策を見ていく。

まず「楽市楽座」である。「楽市」とは、商人の特権を保障し、自由な商売を認めることであり、「楽座」とは、座による独占を否定し、誰でも商売に参加できるようにすることである。商人に対する税金を減免したことで、新興商工業者の形成を促した。また、これまでは売買の取引をする場所は指定されていたが、その規制を緩和することで、人々が自由に取引できるようになり、領内の経済

が活性化した。そうすることで税収も多く得られるようになり、軍事費に活用できたのだ。領内の商人と領主が関係を結んで市場の支配権を得てしまう可能性があるという欠点もあったが、この政策が、信長の軍事力に貢献したことは偽りのないことだ。

そして、関所の撤廃も信長の経済政策の一つとして挙げられる。領内の関所を廃止したことで、いわゆる関税の負担が免除され、通行や物資の運搬が楽になった。また、交通の自由化が進み、物資の流れが活性化され、経済の発展につながった。

信長の経済政策を見ると、大きく二つのことに力を入れていたことがわかる。それが、「規制緩和」と「交通改革」である。

規制緩和のメリットとしては、価格の低下が挙げられる。自由競争を制限する公的規制が緩和・撤廃されることで、新規参入が増加し、自由な競争が起きて価格が低下する。企業側も、労働者派遣制度により、人件費を安く抑えられるようになる。また競争の活性化は、非価格競争を活発にさせ、技術革新、商品開発が進み、より質の高い商品が市場に出回るようになる²⁾。

しかし、規制が緩和されることで、力のある大企業と中小企業や新興企業との間に格差が生まれてしまうというデメリットもある。また、価格競争の激化で不祥事が起きることもある。

今のコロナ禍の日本は倒産する会社が増えており、企業数の減少が懸念される。そこで私は、経営の危ない中小企業が経済的支援を受けやすくし、市場に刺激を与える新興企業の立ち上げを推奨する取り組みが必要だと考える。

現在、政府は既に中小企業向けに資金の緊急貸付と保証枠の拡大を行っているほか、従業員の解雇を防止するために、雇用調整助成金の要件緩和などを行っている。しかし、経営が危機に直面しているのに、相談しても金融機関や自治体は話を聞いてくれないだろうと考える人が多いようだ。中小企業の中でもある程度規模の大きい企業が対象となるという認識が強いのだ。その結果、本来ならば利用できる支援制度があるにもかかわらず、利用せずに危機に瀕^{ひん}するという企業が多くある³⁾。こうした人々がより支援の相談をしやすくなるようにすることが重要である。

起業を考える人に対しては、資金と知識の援助が必要であると考えます。日本

政策金融公庫によると、開業時の苦勞についてアンケートをとると、「資金繰り・資金調達」に苦勞したという人が47パーセントで、「顧客・販路の開拓」に次いで2番目に多かったようだ⁴⁾。そこで、現在の制度に加えて、起業を考える人のための資金援助制度を作るべきだと考える。金融機関から資金を借りる際に作成する創業計画書に加え、過去の自身の取り組みの実績や経営における知識を考慮してさらに資金を提供するシステムを作ることで、優秀な企業の設立につながり、最終的な国の収入の増加につながると考える。そして、その経営に関する知識を深めるために、大企業の経営者に同行して話を聞き、経営の裏側を学ぶことのできる、社会見学のような制度を作ることができれば、人材育成につながると考える。

これらが、全体としては規制緩和の体制を取り、立場の弱い方に対しては援助を少しずつ行っていくという、私の考える「部分的な規制緩和」である。

交通改革は、物資の流れを活性化させ、経済の発達を促す。楽市楽座について改めて調べていた時に、「現代版楽市楽座」という言葉が私の目に留まった。このイベントとは、「JAPAN BRAND FESTIVAL」という名で催され、地域の取り組みを発信したい人がプレゼンテーションを行ったり、展示を行ったりして、それらに興味のある人々との関わりを深めるというもののようだ。このイベントは単なる勉強会や展示会ではないと言う。発信する人たちが目指すのは、一つの地域や事業者だけでビジネスを発展させることなく、「同じ志の人とのネットワークを活用する」ことであり、そのためには、地域の壁を取り払っていくことが必要だ。そういった人が自由に集まり、関係を広めていくから楽市楽座と呼んでいるようだ⁵⁾。現代には関所などはなく、物理的な交通の改革は既に進んでいる。地域の枠を超えて取り組みや考え方を共有する、そういう意味での精神的な交通を活性化していくことが大切であると考えます。

今後の日本において、同じ志を持った人々が、関係を築き連携しながらも、競争して、より社会に必要なものを作り出していくことが、より良い製品の完成につながり、消費者の購買意欲を掻き立て、経済を循環させていくことになるのだ。そのために、企業や社員の協力やいい意味での対立といった、縦横の関係を築いていくことが最も重要なのだ。

(注)

- 1) 講談社現代ビジネス「鉄炮1挺60万円、軍事費トータル10億円!? 戦国大名の懐事情とは」
2020年6月18日
URL <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/72981>
閲覧日2021年8月16日
- 2) Money motto! 「正しく知ろう! 規制緩和のメリット・デメリット」 2017年1月26日
URL <https://news.hoken-mammoth.jp/kiseikanwa/>
閲覧日2021年8月16日
- 3) ヤフーニュース「会社を潰さないために、まだ打つ手はある～拡充された中小企業支援制度を最大限に活用しよう」 2020年3月3日
URL <https://news.yahoo.co.jp/byline/nakamuratomohiko/20200303-00165781>
閲覧日2021年8月16日
- 4) 日本政策金融公庫総合研究所「2017年度新規開業実態調査」～アンケート結果の概要～ 2017年12月25日
URL https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/topics_171225_1.pdf
閲覧日2021年8月17日
- 5) ITmedia ビジネスONLINE 「伝統は守るな、生かせ! 現代版『楽市楽座』を生んだ常識破りの挑戦」 2019年2月25日
URL <https://www.itmedia.co.jp/business/articles/1902/25/news024.html>
閲覧日2021年8月16日

